

令和8年度

病害虫発生予察情報

第7号

注意報第2号

北海道病害虫防除所 令和8年(2026年)6月22日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

オオタバコガがフェロモントラップに多誘殺 速やかな薬剤防除を！

フェロモントラップへのオオタバコガの初誘殺は、長沼町が5月18日(平年:6月16日)、比布町が5月12日(平年:6月4日)と平年より早く確認されています。また、長沼町および比布町の誘殺数は平年より多く推移しています。高温に経過すると1ヶ月ほどで次世代が発生し、更に多発するおそれがあります。なお、本種は道外から成虫が長距離飛来することが知られており、現在誘殺が認められていない地域でも発生に注意をしてください。

幼虫は広食性でスイートコーンやトマト、ピーマンなどの果菜類、レタス、キャベツ、ブロッコリーなどの葉茎菜類、花き類を食害します。葉、芽の他に果菜類や花き類の商品部位である蕾、花、果実を好んで食害します。果実や蕾に穿孔し、頭部が入るくらいの穴から食入した後に付近の果実などに移動し次々に食害するため、果菜類や花き類では被害が拡大しやすいです。また、スイートコーンでは雌穂に包葉部から穿孔する他に絹糸抽出部から食入して子実を加害することもあり出荷後に幼虫が混入する被害となります。

果実等への被害を防止するため、薬剤防除は成虫発生期からふ化幼虫を対象に早め実施することが重要です。フェロモントラップへの成虫の誘殺状況は病害虫防除所ホームページの定点調査に掲載、随時更新しています(http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/teiten_jouhou/index.html)。

以上のことから、成虫発生情報の確認に努め、早めの薬剤散布を実施してください。薬剤散布後もほ場観察につとめ、本種による被害を認めた場合には、薬剤防除を継続してください。本種は薬剤抵抗性が発達しやすいためローテーション防除を心がけましょう。

1. 発生地域 全道

2. 発生期 早

3. 発生量 多

4. 注意報発令の根拠

- (1) 長沼町および比布町のフェロモントラップへの初誘殺は平年よりも早い。
- (2) 長沼町および比布町のフェロモントラップへの誘殺数は平年より多く推移している。

5. 防除対策

- (1) 幼虫は作物体に食入することから被害確認後の薬剤散布では効果が得にくい場合がある。すでにフェロモントラップへの成虫誘殺が確認されているため、ふ化幼虫を対象に速やかに防除を実施する。また、薬剤抵抗性が発達しやすいので、異なる系統の薬剤によるローテーション防除をおこなう。
- (2) 摘芯した脇芽や摘果した幼果に卵や若齢幼虫が付いていることがあるため、これらは放置せずにほ場外へ持ち出して処分する。被害果実内に幼虫が食入していることがあるため、被害果実も同様にほ場外へ持ち出して処分する。

表1 フェロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘殺状況

月半月旬	長沼		比布		北斗		芽室		訓子府	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6.1	4	0	1	0.1	0	0	0	0	0	0
2	2	0	2	0.1	0	0.1	0	0	0	0
3	10	0.3	1	0.3	0	0	0	0	0	0
4		0.8		0.2		0		0		0
5		0.6		0.1		0		0		0
6		0.2		0		0.4		0		0
7.1		2.2		0.3		0		0		0
2		0.3		0.1		0		0		0
3		0.5		0.1		0.1		0		0
4		0.8		0.1		0		0		0
5		0.4		0.6		0		0		0
6		0.4		0		0.2		0		0
8.1		2.0		3.3		0.9		3.2		0.6
2		4.5		2.7		0.7		0.9		0.8
3		1.2		2.4		1.1		1.6		0.4
4		0.8		0.9		1.5		0.1		0
5		2.0		0.4		2.0		2.7		2.6
6		1.0		1.4		7.6		0.8		0.9
初誘殺日	5月18日	6月16日	5月12日	6月4日	未誘殺	5月31日	未誘殺	-	未誘殺	8月5日

表2 トマト・ミニトマトでオオタバコガに登録のある農薬(6月19日現在)

農薬の名称	希釈倍率	使用時期	使用回数	IRACコード
スピノエース顆粒水和剤	5000	収穫前日まで	2回以内	5
ディアナSC	2500~5000	収穫前日まで	2回以内	5
ダブルシューターSE	1000	収穫前日まで	2回以内	-、5
アニキ乳剤	2000	収穫前日まで	3回以内	6
アフーム乳剤	2000	収穫前日まで	5回以内	6
コテツフロアブル	2000	収穫前日まで	3回以内	13
アタブロン乳剤	2000	収穫前日まで	3回以内	15
カスケード乳剤	2000~4000	収穫前日まで	4回以内 (ミニトマトは 2回以内)	15
マッチ乳剤	2000~3000	収穫前日まで	4回以内 (ミニトマトは 2回以内)	15
カウンター乳剤	2000~3000	1番花の開花まで	4回以内	15
マトリックフロアブル	1000~2000	収穫前日まで (ミニトマトは収穫 7日前)	3回以内	18
アクセルフロアブル	1000~2000	収穫前日まで	3回以内	22B
ブレバソフフロアブル5	2000	収穫前日まで	3回以内	28
フェニックス顆粒水和剤	2000~4000	収穫前日まで	2回以内	28
ベネビアOD	2000~4000	収穫前日まで	3回以内	28
ヨーバルフロアブル	2500~5000	収穫前日まで	3回以内	28
グレースシア乳剤	2000	収穫前日まで	2回以内	30
サイモディスDC	2500	収穫前日まで	2回以内	30
プレオフロアブル	1000	収穫前日まで	2回以内	UN

注) 下線はトマトで指導参考事項

表3 スイートコーン(未成熟とうもろこしまたはとうもろこし)でオオタバコガに登録のある農薬(6月19日現在)

農薬の名称	希釈倍率	使用時期	使用回数	IRACコード
ディアナSC	2500~5000	収穫前日まで	2回以内	5
アニキ乳剤	1000	収穫前日まで	3回以内	6
アフーム乳剤	1000~2000	収穫3日前まで	2回以内	6
コテツフロアブル	2000	収穫前日まで	2回以内	13
カスケード乳剤	4000	収穫7日前まで	2回以内	15
ブレバソフフロアブル5	2000	収穫前日まで	3回以内	28
フェニックス顆粒水和剤	2000~4000	収穫前日まで	2回以内	28
ベネビアOD	2000~4000	収穫前日まで	3回以内	28
ヨーバルフロアブル	5000	収穫前日まで	3回以内	28
プレオフロアブル	1000	収穫前日まで	2回以内	UN